

長崎大司教区諸活動部門 11委員会について

2024年3月現在



11の委員会がある長崎大司教区諸活動部門は現在、第7期（2021年度～23年度）を終えようとしている。2001年4月に教区の中に委員会が設置されて以降、委員会や委員会が属する部の新設・廃止といった再編が繰り返し行われ、現在の体制となった。各委員会はそれぞれ、司祭・信徒ら数人～10人前後のメンバー（委員と協力者）を擁する。第7期のほとんどの期間はコロナ禍の影響のため委員会活動が十分にできない状況にあったが、それでも活動は地道に続けられてきた。また、教区シノドス公式提言の推進についても2022年12月に担当司祭が2人任命され、昨年からは11委員会の委員長と教区シノドス担当者、司教総代理、教区本部事務局長で構成されるシノドスコアチームの会議も始まり、本格的な動きが見られつつある。次年度からは第8期。新たな取り組みが始まるのを期待するとともに、いま一度11委員会についてその目的・役割、活動内容などを、紙面を通して紹介・共有したい。

委員会・委員長	モットー[みことば]	目的・役割	活動内容・呼びかけたいこと
信仰教育 中島 誠志 師	お父さんもわたしも心配して搜していました。 ルカ 2・48	福音宣教には、信仰を成長させることも含まれる（『福音の喜び』160参照）。今の中学生を対象に「キリストがわたしの内に生きておられる（ガラテヤ2・20）」心のために、イエスさまを知り、祈りを学び、案内する方の取り組みを促す。	小中学生の家庭や教会学校など「信仰を成長させる」分野において、アンケートから現状を踏まえ、堅信クラスキリスト作成作業、カテキスタ養成など、これまでを考え、これからに生かす方法を模索する。 ➡ ミサや教会学校の同じ空間と時間を親子で一緒に味わい、帰りにはイエスさまが今の自分たちに言いたいことはどんなことかを分かち合ってはいかがでしょうか。
青少年 川端 志範 師	あなたは、年が若いということで、だれからも軽んじられてはなりません。むしろ、言葉、行動、愛、信仰、純潔の点で、信じる人々の模範となりなさい。 テモテ I 4・12	青少年の信仰養成のための具体的な活動を、サポートまたは行い、次代を担う青少年たちが、教会活動の中での自分たち独自の役割を見いだし、自覚しながら活動できるように励ます。	青少年の信仰についての考え方、その教育についての研究、資料収集し、教区・小教区での青少年の活動の場の開設を検討し、巡礼やボランティア、社会運動などを呼びかける。 ➡ 若者たちも「ともに」集まる教会であるよう、どうぞ教会の青年とお話ししてください。青年活動についてご要望があればお手伝いいたします！
生涯養成 山添 克明 師	ほかの種は良い土地に落ち、芽生え、育って実を結び、あるものは三十倍、あるものは六十倍、あるものは百倍にもなった。 マルコ 4・8	成人の信徒がキリスト者、宣教者としてより成長することができるよう養成の手助けを企画提供していく。さらには、信徒の枠を超えて多くの方にキリストの教えに興味を持っていただく。	年間を通じて、カトリック講座・聖書講座を企画・実行し、受講者に分かりやすく、キリストの教えを提示していく。 ➡ 「ともにやさしく学ぶ」をモットーに、講座会場・オンラインを通してできるだけ多くの皆様と「キリストの教えを分かち合える場」となることを願う。引き続き、当委員会へのご協力、参加をよろしくお願いします。
平和推進 鍋内 正志 師	平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。 マタイ 5・9	被爆地を持つ教区として、キリストの平和に満たされて、苦しんでいる人々に寄り添い、行動する。	平和旬間や毎月9日の祈りの呼びかけ。高校生沖縄平和学習、秋の平和学習などの教育、啓蒙活動。「核兵器のない世界のためのパートナーシップ」の具体化を目指す。 ➡ 毎月9日に「平和の祈り」を唱えよう、と呼びかけています。
人権 川口 昭人 師	天が裂けて“靈”が鳩のように御自分に降って来るのを、御覧になつた。すると、「あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者」という声が、天から聞こえた。 マルコ 1・10-11	教区の皆様に人権の問題に関わるさまざまな活動を知りたい大きく努力め、聖職者に限らず多くの信徒・一般の人々と活動していくことも一つの目標である。	人権委員会は、第4期以降「難民移住移動者部会」と「部落問題対応部会」を統合して設置された。日本カトリック司教協議会の組織（難民移住移動者委員会と部落差別人権委員会）と関わりながら活動している。 ➡ つながれば、それを活かしていきたいです。
福祉 大瀬良 直人 師	病人は答えた。「主よ、水が動くとき、わたしを池の中に入ってくれる人がいないのです。(中略) ほかの人が先に降りて行くのです。」イエスは言われた。「起き上がりなさい。床を担いで歩きなさい。」 ヨハネ 5・7-8	既存の福祉団体を信仰教育と広報活動によって支援し、その啓蒙と促進を通して信徒の信仰生活の活性化を図る。	福祉団体に対し、助言と提言で側面的に支援。小教区の福祉世話人の研修会、講演会、子どもの福祉の集い、ホームページの開設検討中。
エキュメニズム・諸宗教 竹谷 誠 師	隣人を自分のように愛しなさい。 マタイ 22・39	各宗派の相違を尊重し、プロテスタント教会、および諸宗教との交流を進め、ともに福音化に奉仕することを目指す。	現在、携わっている事業内容をまず研修しつつ、宗教者同士のかかわりを深め、社会の中での宗教のあり方を再確認する。 ➡ 8月8日爆心地公園での原爆殉難者慰靈祭、1月第3日曜日のキリスト教一致礼拝、毎月第3火曜日の朝祷会に参加ください。また、当委員会に興味がある方の参加をお願いいたします。
家庭 大水 満 師	イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。 ルカ 24・15	家庭そのものに目を向け、宣教の場であるキリスト教的家庭の実現を目指す。	委員会の目的・役割にそった講演会、SNS活動、カレンダー作成などを行う。 ➡ 家庭の信仰といのちを大切にしていきましょう。
召命 辻原 達也 師	収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫のために働き手を送つてくださいるように、収穫の主に願いなさい。 マタイ 9・37-38	司祭、修道者の召命（司祭叙階、および誓願宣立まで）促進と育成。	すでに行われている教区内の召命関連行事のバックアップとコレジオの後援。 ➡ 召命を意識した子どもたちの将来・夢を育てましょう。
典礼 平本 義和 師	わたしたちは、祈りと御言葉の奉仕に専念することにします。 使徒 6・4	典礼が礼拝行為であり、信仰養成、宣教の場であることをふまえ、意識的、行動的、十全的参加を促すため、研究、企画、改革推進を図る。	教区主催の典礼行事をサポートする。大人を含めた典礼奉仕者の養成、聖歌の巡回指導、新しい祈祷書の作成。 ➡ 祈祷書・聖歌集を手に取って、新しい心で生き生きと典礼をさげましょう。「無言の傍観者」にならないように！
広報 山田 良秋 師	荒れ野で叫ぶ者の声がする。「主の道を整え、その道筋をまっすぐにせよ。」 ルカ 3・4	紙・電子媒体を通して教会の情報を発信・共有し、啓発のための情報提供を行うとともに、世の人々への福音宣教を目指す。	教区報「カトリック教報」の発行、教区ホームページによる情報発信、他各種問い合わせやマスコミへの対応など。 ➡ 手に取って読みたくなる紙面づくり

叙階・選任・認定式

助祭叙階式
3月20日(水)10時30分 浦上教会
受階者
ボナベントウラ 洪燦基(浦上)

選任式
3月10日(日)14時 相浦教会
祭壇奉仕者受任者
トマ 廣田学(鹿子前)

助祭・司祭候補者認定式【信徒発見ミサ】
3月17日(日)19時 大浦天主堂
ベルナルド 森翔真(太田尾)

聖香油ミサ【司祭の日】

3月26日(火)10時30分 浦上教会



ダイヤモンド祝

司祭生活のすべてに感謝
ペトロ 小島栄 神父

今年2024年に司祭叙階の節目を迎える司祭は長崎教区内に6人。ダイヤモンド祝(60周年)と銀祝(25周年)の方々にそれぞれお言葉をいただきましたので掲載します。現在、教区外におられ、記念の節目を迎えたのであります。現在、教区外におられ、記念の節目を迎える長崎にゆかりのある司祭のためにもどうぞお祈りください。

主に感謝をささげ（詩編33・2）

先生に恵まれた
フランスコ・ザビエル
熊川幸徳神父



方々に感謝
ベルナルディノ
萩原榮三郎 神父

られる人になりたい。そして、一面でも輝きを放つことができればと願っています。名工の研磨によつてダイヤモンドは輝く。皆様のお祈りに頼りながら。感謝をこめて



方々に感謝

神様のお恵みに感謝

支援してくださった

方々に感謝

神様のお恵みに感謝

